

高雄だより

臨時号

後期学校評価のまとめ

公開URL <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/data/111300/>
 モバイルURL <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index-i.php?id=111300>

平成29年2月27日
 京都市立高雄小学校
 校長 坪内 昌子

学校教育目標

「心豊かに自ら学び 無限の可能性を拓く たくましい子ども」

はじめに

1月の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。子ども達へのアンケート・保護者の皆様へのアンケート・教職員へのアンケートをもとに、前期(7月実施)と比べて大きく変化のあったことについて考察してみました。

確かな学力

〈保護者アンケートより 重要度・実現度〉

質問項目 以下の項目について同様の見 方をするようにしてください。	上段 前期アンケート結果 下段 後期アンケート結果			
	重要である	やや重要で ある	あまり重要 でない	重要でない
A わが子は、宿題以外に、やりた い学習や自分に必要な勉強に 取り組んでいる。(重要度)	59.4% 68.0%	40.6% 32.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%
B わが子は、宿題以外に、やりた い学習や自分に必要な勉強に 取り組んでいる。(実現度)	11.6% 16.5%	31.6% 33.0%	40% 36.1%	16.8% 14.4%

方を身に付けられるようにしたり、家庭で学習してきたノートを学年便りなどで紹介したりする取組を続けてきました。その成果がアンケート結果にも表れているようで、Aの重要度もBの実現度も向上してきました。自学自習の習慣をつける取組が重要であるとの認識が深まり、家庭でもお声かけいだしていること也有って、実現度も向上してきました。このような取組は、子どもたちが自分自身を知り、自分の良いところを伸ばしたり、自分の課題克服のために努力したりすることにつながります。今後もこの取り組みを続けていきたいと思います。

豊かな心

高学年児童アンケート	よくできている	大体出来ている	あまりできてい ない	出来ていない
C わたしは、学校ではいつも 楽しく過ごしている。	58.3% 54.0%	35.0% 44.4%	5.0% 1.6%	1.7% 0.0%

Cのアンケート結果で特筆すべきは、「あまりできていない」と回答する児童が減少し、「出来ていない」と回答した児童が0%であることです。新聞紙上で「いじめ」などに心を痛めている児童が増加していることが報道されている中、「楽しく過ごせていない」児童が0であることは、高雄小学校の素晴らしいところであると思います。私たちはこの結果に満足してしまうことなく、子どもの心の中の様子をしっかりととらえ、豊かな心を育てられるよう取り組んでいきたいと思います。

〈保護者アンケートより 重要度・実現度〉

D	家庭では、わが子に社会のマ ナーや学校のきまりを守るよう にしつけている。(重要度)	重要である	やや重要 である	あまり重要 でない	重要でない
		81.6% 86.6%	17.3% 12.4%	0.0% 0.0%	0.0% 1.0%
E	家庭では、わが子に社会のマ ナーや学校のきまりを守るよう にしつけている。(実現度)	よくできて いる	だいたいで きている	あまりでき ていない	できていな い
		9.2% 13.5%	55.1% 80.2%	33.7% 6.3%	2.0% 0.0%

Dの結果からは、社会で
生きていくうえで、きま
りやマナーを守ること
はとても大切で、それが
できる子どもに育てた
いという保護者の皆さ
んの願いを感じ取るこ
とが出来ます。でも、実
現度を問う E のアンケ
ートのほうでは、「だいたいできている」とお感じはなっていますが、「よくできている」とは言いに
くい様子がよくわかります。

F	教職員アンケート 実現度	よくできて いる	大体出来て いる	あまりでき ていない	出来ていな い
		0.0% 0.0%	37.5% 55.6%	62.5% 44.4%	0.0% 0.0%

一方、言葉遣いに
ついては F の結果の
ように向上しつつあ
るようと思われます。
これは、すべての教
職員で、子どもたちの言葉遣いを正そうと地道に取り組んできたことの成果であると受け止めていま
す。「しつけ」は「しつづけ」だとよく言われます。「しなければならないことはする」「してはいけ
ないことはしない」ということを私たち大人が「しつづけ」なければなりません。そのためには私たち大人自身が子どもの手本となってルールやマナーを大切にしていく必要があります。

健やかな体

〈保護者アンケート 重要度・実現度〉

G	学校は、不審者対応や災害発 生時の対応など、適切な安全 対策をとっている。(重要度)	重要である	やや重要 である	あまり重要 でない	重要でない
		92.9% 92.9%	7.1% 6.1%	0.0% 1.0%	0.0% 0.0%
H	学校は、不審者対応や災害発 生時の対応など、適切な安全 対策をとっている。(重要度)	よくできて いる	だいたいで きている	あまりでき ていない	できていな い
		27.6% 23.7%	62.2% 57.7%	10.3% 18.6%	0.0% 0.0%

GとHのアンケート結果
からは、保護者の皆さん
が学校の安全対策の重
要性を感じておられながら
も、その実現にあたって、
不安であると感じておら
れる様子が読み取れます。

学校では、日頃の安全指導に加えて、時期をとらえて避難訓練に取り組むことも続けてきました。また、地域内で危険なことがあった時には、PTA メールなどでお知らせしたり、場合によっては PTA 地域委員さんのご協力をいただいたりもしてきました。

3月には地震についての避難訓練を行います。今回は小学生も中学生も同じ校舎で学習しているときに大きな地震が起きたという想定で訓練を実施します。その時に混乱なく避難できるよう学習したいと思います。また、震度5弱以上の地震の場合、いったん教室内で避難行動をとった後、運動場や講堂などに避難し、子どもたちを保護者の皆さんに引き渡すようにします。今回の訓練では、実際に引き渡すことはしませんが、今後、大きな災害に備えてそのような訓練をしていくことも必要であると考えています。

〈児童アンケート 実現度 上段低学年 下段高学年〉

		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
I わたしは、朝ごはんを食べてからがつこう学校に行っている。		91.1%	4.4%	2.2%	2.2%
		81.0%	7.9%	4.8%	6.3%
J わたしは、夜は早く寝て、朝は早く起きている。		28.6%	33.3%	21.4%	16.7%
		20.0%	24.6%	32.3%	23.1%

がさらに強くなります。朝からあくびをしていたり、ふとした場面で居眠りしていたりする子を見かけたりもします。学校と家庭が一緒になって解決していかなければならぬ問題ですね。

自由記述欄より

多数ご記入いただきありがとうございました。ここではそのいくつかについてご紹介し、回答していただきたいと思います。

土曜学習で、英会話や習字など、他のことをいろいろ取り入れてほしいです。

土曜学習では、将棋・オセロ、オカリナ、コンピュータ、読書など様々な経験を広げる活動に取り組んできました。来年度以降、さらに充実した土曜学習になるよう取り組みます。

エプロンの学年の数字がバラバラで、用意しにくいです。一度休みの間に、合わせていただきたいです。

エプロンについて PTA 本部役員さんと相談した結果、PTA 会費の一部を使って新しいエプロンを購入しました。大切に使うことについても指導していただきたいと思います。

普段使っている言葉について、友達を傷つけかなしい思いをさせていることはないでしょうか。フワフワ言葉チクチク言葉という取組がされ、掲示されていたことがありました。とても印象深く鮮明に覚えていますが、フワフワ言葉は想像しただけで温かい気持ちになりチクチク言葉は聞いただけで関係のないものでも胸が痛みます。大人でも言葉を上手に使うことは難しいと思いますが、言葉は刃物とも言います。使い方によっては平気で人を傷つけることが出来てしまいします。たてわり活動やク

ラスの団結など、少人数の学校だからこそ取り組める利点を生かし、今一度、言葉の持つ意味を大事に教えていただけたら嬉しく思います。

学校では、各教科や道徳の学習での人権学習に加え、毎月「ともだちの日」を設定して人権意識を高める取組を行っています。「フワフワ言葉・チクチク言葉」はその指導の中で、子ども達と一緒に学習したもので、掲示することによっていつも子どもたちがそれを意識できるようにしています。

また、今年度よりたてわり活動をさらに充実させるようにしてきました。日々の清掃活動を学級での掃除からたてわり掃除へと変えました。子ども達は、日頃にもまして一生懸命に清掃に取り組む様子が見られました。掃除のない水曜日には、清掃の時間帯をたてわり遊びなどにつかい、仲良く活動できるように働きかけてきました。そのなかで、高学年の子どもたちが低学年の子にやさしく接する様子や、リーダーとして責任を持って活動する様子も見られました。

ご指摘いただいたように、「小さい学校だからできる取組」を今後も続けていきたいと思います。今年度の取組を通し、子どもたちの心を育てる取組の一つがたてわり活動であることははっきりわかったように思います。今年度中には、地域に住んでおられるお年寄りに、6年生がお花をプレゼントする計画もしています。それも、たてわり活動で取り組んでいこうと考えています。来年度以降も、たてわり活動や友だちの日の取組などをさらに充実させ、子どもの豊かな心を育てていきたいと思います。

今年度、不注意により、学校内で骨折をし、そのため所属するチームに迷惑をかけ、大切な試合を控えていましたが、たくさんのご指摘を受け試合を見送る決断をしました。いち早く改善できることとして、マットの購入・追加などの検討をお願いします。今後、同じことが起きないようにお願ひしたいです。

まずは、学校管理下でお子達にけがをさせてしまったこと、謹んでお詫び申し上げたいと思います。けがを防ぐために、体育用具や遊具などの点検・整備を常日頃より行っています。

今検討しているのは、子どもたちの上靴と体育館で使う靴の問題です。今、子どもたちが使っている上靴は運動に適しているとは言えません。その靴で体育の学習に臨んでいると、やはり大きなければつながるのではないかと考えています。また、子どもたちが靴のかかとを踏んでしまっている様子もよく目にします。そのまま遊ぶと、けがにつながります。本校は、教室内だけ上靴を使っているため、はきかえが多くなり、かかとを踏む結果につながってしまっているとも考えられます。

そこで、来年度より、登校してから上靴にはきかえ、廊下も教室も上靴で過ごせるようにしていただきたいと思います。また、体育館を使うときには、運動に適した靴を履くようにもしていただきたいと考えています。詳細は後日お知らせするようにします。

文責 高雄小学校教頭 森 雄一